

第 39 回土木計画学研究発表会（春大会）：2009. 6. 13～14（徳島大学）

企画論文部門 セッション討議内容の記録

セッション名：社会資本整備とモビリティ・幸福感・公平感の関連性： 行動科学的アプローチに基づく検討	
日付： 6月 14日（日）曜日，セッション時間： 12：40～14：10	
オーガナイザー・司会者名（所属）： 福田大輔（東京工業大学），佐々木邦明（山梨大学）	
討 議 内 容	セッション全体： 本セッションは2007年春大会で催された「モビリティと幸福感」というセッションの継続として位置づけられる。社会資本整備に伴う人々の生活行動変化が、「暮らしぶりの良さ」や「幸福感」に及ぼす影響に関しては、その計測方法や理論仮説などについて、その後も様々な研究展開がなされている。本セッションでは、本分野における最近の新たな学術的・実践的展開についての論文を受け付けると共に、この分野の新たな展開について、集中的に議論した。具体的には、時間短縮と主観的幸福感の関連性、生活全体の幸福感と土木事業による幸福感との分離可能性、行動科学的な幸福感尺度の施設計画や設計への反映可能性についての討議が行われた。
	(394) 将来モビリティニーズ分析のための生活時空間シミュレータの開発，則竹 茂年（豊田中央研究所）： ・パラメータの推定方法について ・本シミュレーターにおいて幸福感を計測するための指標として何をを用いるかについて
	(395) 環境意識と鉄道利用行動との関連性分析，金 賢（韓国交通研究院）： ・環境意識に基づく類型化の作業の場面における潜在クラスモデルの適用可能性について ・環境意識と幸福感の関連性について
	(396) プリズム制約を考慮した活動選択枝数と生活満足度に基づく交通機関の評価の可能性，西山明博（山梨大学大学院）： ・SENの定義による潜在能力・機能という概念と、本研究の調査設問との関連性について
	(397) DRMによる公共交通利用時の気持ちに影響する要因の因果構造分析，張 峻屹（広島大学）： ・車内での個人行動が、他者の幸福感／不幸福間に及ぼす社会的影響について ・そのような社会的影響を踏まえた上での公共政策評価の在り方について
	(398) キューバにおける幸福感と社会的ネットワークに関する考察，樋口 智幸（東京大学）： ・社会ネットワーク形成における「ブラックマーケット」の影響の有意性について ・本研究で提示したコンセプトと、今後行う具体的なヒアリング・意識調査の関連性について

※発表件数に応じて適宜追加してください。